

平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立

桔梗小学校

学級数

21

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標
「自ら学ぶ子」

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

取組の概要

- 1 取組のきっかけ**
確かな学力向上のための取り組みとして、昨年度は教育課程の改善と学習常規の見直しを行った。今年度は、昨年度の取り組みを引き続き行い、さらに学校と家庭との連携を図るために、「家庭学習」についての共通理解を図る。
- 2 取組の位置付け**
確かな学力をはぐくむためにも重要な課題と位置づけ、教務が中心となり、教育課程の改善充実・家庭学習の取り組み方の交流などを進める。
- 3 取組の方法**
教育課程の改善については、昨年度、新しく作成されたものを実践する中で、学年ごとに実態に合うように朱書きを加え次年度に引き継いだ。さらに今年度は、昨年度取り組めなかった偶数学年の一部の教科についても同様の取組を行い、検討・改善を行っていく。学習常規については、学年ごとに重点項目を設定し、学校全体として取り組んできたので、再検討を行っていく。今年度は上記の二点に加え、家庭学習の取り組み方について進める。教務部で「家庭学習の手引き」の原版を作成し、学年の実態に合わせて教務項目・表現等を検討し、その後家庭にも印刷物で周知し、協力を求めていく予定である。

取組の成果と課題等

- **取組の成果**
 - ・自校の年間指導計画に各教科担当が朱書きを進めてきた。
(成果) → 特にならば算数の指導計画で、計画書の配当時間では定着が図れない単元があったため、指導時数を増やし、調整を図った。次年度に向けて修正する予定である。
 - ・学習常規の徹底（学習のきまりの掲示と日常的な指導）
(成果) → 学年の発達段階には違いはあるが、ほぼ全学年共通した項目を設定し、学年ごとに重点を決めて取り組んできた。今後も続けて取り組むことで年度が替わり担当が替わっても共通の指導ができるため、さらに定着できると考えられる。
 - ・家庭学習の取組方（家庭学習の手引きの配布）
学力向上委員会で検討中。新年度に児童への指導・保護者への配布を予定している。
- **教育課程検証の方法**
 - ・全国学力学習状況調査の結果からは、ある程度の成果は表れているが、より確かな力を身に付けたい。そこで、さらに児童の実態を把握するために、学力向上委員会にて全国学力学習状況調査の分析を行うとともに、日常的な児童の実態を把握するためにアンケートも実施する予定である。それらの結果をもとに、自校の到達目標を設定し取り組んでいく予定である。
 - ・学校評価（自己評価・学校関係者評価・外部アンケート）を集計し、今年度の検証を行い、次年度に向けて改善していく予定であるが、今後、具体的な事項について評価できるように評価項目の見直しを予定している。